



みんな なかよく げんきに のびよう

三つの宝「**う**つくくまわりを **え**がおであいさつを **き**ちんとくつならべ」

令和4年度第27号
熊本市立植木小学校
令和4年11月2日
文責：校長清田浩文

集団宿泊教室、学びがたくさんありました！

10月31日（月）～11月2日（水）、集団宿泊教室のため、5年生と一緒に菊池少年自然の家に行ってきました。子どもたちは、普段の学校生活では味わえない自然体験活動・集団行動を通して、「友達と協力することの大切さ」や「自然のすばらしさ」を実感することができました。また、自宅以外の場所で宿泊することで、家族の愛情や我が家のありがたさを再認識することができたようです。

子どもたちは、3日間、以下のめあてを意識して行動しました。

規律：5分前行動をしよう

協同：係活動を協力してやりとげよう

友愛：友達のよいところを一日五つ以上発見しよう

奉仕：気づいたことを進んで一日五つ以上しよう

感謝：五つのあいさつ（よろしくお願いします・お世話になりました・いただきます・ごちそうさまでした・ありがとうございます）をしよう

ほとんどの子どもたちが上記のめあてを達成できたと思います。私自身、子どもたちと3日間共に過ごして、次のような姿を目にすることができ、嬉しく思いました。

- ◇ 素早く整列し、担任や自然の家の先生方に注目して、静かに話を聴く姿
- ◇ 食堂で働く方々に、元気に「いただきます」「ごちそうさまでした」「ありがとうございました」「おいしかったです」を言う姿
- ◇ 行動に時間がかかる友達や失敗した友達に、「どんまい」「大丈夫だよ」といった言葉かけをしたり、責めずに待ったりする姿
- ◇ ハイキングの際、後続の友達に滑りやすい箇所への注意を呼びかける姿
- ◇ 注意されたことを忘れず、同じ失敗を繰り返さないよう気を付ける姿

多くのことを学んできた5年生が、これからの学校生活で、リーダーシップを発揮し、下級生の模範となってくれることを期待しています。

学校教育目標

気づき・考え・実行する、自立と共生の力を備えた子どもの育成
～出会いと出番と対話のある学校を目指して～